

Revolution

～革命を起こそう～

大阪府立千里青雲高等学校 9期生担任団

学年通信 No. 13

2016年11月4日

最近、私の心に残った言葉

4組担任 小嶋佐智子（国語科）

《創立10周年記念式典から》

★『途中で投げ出さなければ、ますます発展する。』

★オリンピックシンクロコーチ 井村さんの言葉、『大事なことは、自分が感動する心（やわらかな・しなやかな心）を持っていること。心が動く体験をすること。例えば、読書や芸術鑑賞などがお薦め。』丹羽さん（PTA会長）の挨拶から。

★『メダリストとして、それにふさわしい人になります。』丸茂圭衣さん（1期生 リオネジャネイロオリンピック シンクロナイズドスイミングチーム 銅メダリスト）のビデオレターから。

★『夢に向かって、あきらめず、全力で！』出口瑛瑚さん（6期生 インチョン・アジアパラリンピック（競泳）出場）のビデオレターから。

☆不斷の努力によって、「メダル獲得（目標達成）！」。しかし、それがゴールではありません。次へのスタートです。同様に「感動する心」も不斷の努力によって、キープされるのですね。（こじま）

《本校の先生・生徒から》

★『模擬試験の受験料の3分の1は問題作成・判定の費用。残りの3分の2はやり直しのための教材代である。やり直しをしない人はその分のお金と自らが伸びるチャンスを無駄にしているのである。』古岡幸二郎さん（本校進路グループ長）のスタディサポート返却時の言葉から。

模擬試験を受けると、必ずやり直しをしているという、数少ない生徒がいる。私が「偉いね」と言うと、★『だって、放っておくと気持ち悪いから。』本校生徒（2年女子）の返事から。

☆点数や順位ばかりに執着していませんか？何事も反省（やり直し）が大事。同じ失敗を繰り返すことは、本当に無駄なことだと思いませんか？（こじま）

《朝日新聞の記事・『未来への楽しい修練』から》

面白さに夢中になったり知識や勇気を与えられたりと、読書はよい事づくめ。なのに本を読む若者が少ないと聞きます。

読書は、文章の意味を深く理解する行為。大脳の働きの連続です。神経と精神を働かせ、自分の記憶や知識を駆使するのですから、肉体労働ではないものの、しんどい作業です。

そのため、読書で得られる面白さや知識を、もっと安直な方法で得ようとするのも理解出来ます。

しかし、若い皆さんが社会人になれば、周囲と対話したり議論したりと、頭を使って判断することの連続です。読書での大脳活動は、その良い訓練になります。

単に知識や面白さを得るためだけでなく、大脳活動の楽しい修業として読書を満喫してください。（絵本作家 かこさとしさん 90才）

☆毎日の朝読の時間、有意義に使えていますか？たかが5分ですが、積もり積もれば1年で10時間。大脳を鍛えるチャンスを失っています。もったいないなあ～と思います。（こじま）

～11月の主な予定～

11月14日（月）：月12+結団式

15日（火）：修学旅行（～18日）

23日（水・祝）：勤労感謝の日

24日（木）：校外清掃・大清掃

25日（金）：スピーチコンテスト（英語）

26日（土）：学校公開日（水56）
学校説明会（午後）

28日（月）：代休

29日（火）：期末考査一週間前

12月5日（月）：午前授業（月1234）

6日（火）：期末考査（～12日）



Revolution 企画 その9

今、頑張れる自分に！

科目選択の最終締切が迫っています!!これを過ぎると変更できないのでご注意を……そして、そのあとは自分が願う進路に向かって進むだけ!16ヶ月後、みんなが笑顔で旅立っていくことを切に願っています。そのためには今を全力で過ごすこと!

がんばった今が、未来の自分を支えてくれる!